

「逃げ遅れゼロ」を目指し、大規模氾濫への備えを促進！

【令和元年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（大阪）を開催】

～水防災意識社会の再構築に向けた取組の継続的なフォローアップと一層の推進～



「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、各市町から地域特性に応じた取り組み事例を発表して頂き、取組について協議会で共有しました。

また、今年1月に改定された「緊急行動計画」を踏まえ、取組方針を改訂しました。

各関係機関から発表された主な取組内容

○防災教育や防災知識の普及

- ・授業形式で水害や避難に関する知識を習得
- ・学校施設にテープを貼り、水害発生で想定される浸水深さを実感



○都市公園の防災公園化

- ・主な防災機能（大規模災害時の自衛隊・緊援隊の後方支援活動進出拠点、臨時ヘリポート、非常用発電機、備蓄倉庫、マンホールトイレなど）



○おおさかタイムライン防災プロジェクト

- ・国や市町村と連携して、タイムライン防災を府全域に広げていくプロジェクトを推進



寝屋川流域大規模水害タイムラインの策定

意見交換「水害による人的被害ゼロの実現に向けて」

京都大学防災研究所 竹之内健介特定准教授より「地域社会における防災スイッチを考える」と題してご講演を頂き、さらなる減災に向けた意見交換を行いました。



竹之内特定准教授



各市町の意見交換

本協議会は水防法に位置付けられる大規模氾濫減災対策協議会として、水防災意識社会の再構築に向け取組みを一層推進していきます。

◆開催概要

日 時：令和元年7月24日（水）13：30～15：30
場 所：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）1009会議室
参加者：20機関から37名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

